

**「（仮称）八王子市自転車利用環境整備計画」（素案）  
意見募集（パブリックコメント）の結果**

この度は、市民の皆様から多くのご意見をいただき、誠にありがとうございました。

つきましては、いただいたご意見の要旨と、これに対する市の考え方を公表いたします。なお、とりまとめの都合上、趣旨を損なわないよう要約していますのでご了承ください。

なお、個別の事業に関するご意見等につきましては、事業を進める過程において十分に精査しながら進めていきます。

**1. 意見募集の概要**

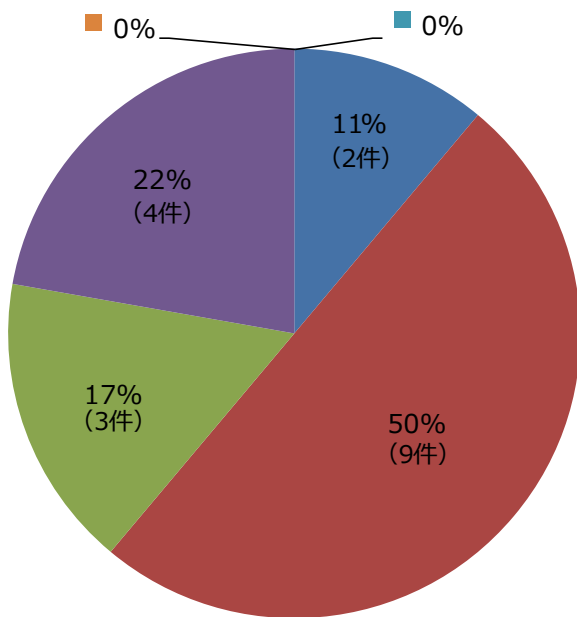
- 募集期間：平成28年7月5日（火）から平成28年8月5日（金）まで
- 提出できる方：市内在住・在勤・在学の方、市内に事務所等を有する個人・法人・その他団体
- 提出方法：意見と住所、氏名（市内在勤・在学の方は勤務先・学校名）を記入のうえ、市役所6階交通企画課へ提出【直接（持参）、郵送、FAX、Eメール】
- 素案閲覧場所：市役所6階交通企画課、各事務所・市民センター・図書館、市のホームページ

**2. 意見集計結果**

- 意見提出者：7名
- 意見数：18件

提出方法	Eメール	FAX	郵送	持参
意見提出者	5	1	0	1

● 意見の概要：



- 1. 基本的な考え方（第1章～第5章）
- 2. 基本目標1：あんげんに自転車を利用しよう
- 2. 基本目標2：かしく自転車を利用しよう
- 2. 基本目標3：たのしく自転車を利用しよう
- 3. 計画の推進に向けて
- 4. その他

番号	意見等の要旨	市の考え方
1. 基本的な考え方（第1章～第5章）（2件）		
1-1	<p>今回の整備計画で自転車利用の安全性、交通整備が当面の現実的課題として対応したのに見受けられた。もう少し将来を見据えて、広い意味で以下の2点をアピールして打ち出してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車の積極利用による、CO2削減効果。（地球）環境問題に関して先進的な取り組みであること。</li> <li>・自転車の利用が、（車などの利用に比べて）健康的なライフスタイルにも適合していること（カロリー消費などによるメタボ対策）。</li> </ul>	<p>近年、自転車の関連する事故件数は減少しているものの、歩行者事故に占める自転車との事故の割合は増加しており、安全性の向上や、走行環境の整備が必要と考えております。</p> <p>しかし、自転車には環境負荷の低減や、健康増進などの効果もあることから、「基本目標3たのしく自転車を利用しよう」に、環境や健康について追記しました。</p> <p>また、サイクリスト支援や自転車の共同利用の研究などの、自転車を楽しむ環境の整備の中で、自転車の積極的な利用について研究します。</p>
1-2	<p>全身運動である自転車は健康増進に役立ち、超高齢社会における健康寿命の保持につながり、さらにそれは、国や地方の課題の一つである、増加を続ける医療費や介護費用の抑制につながってくる。</p> <p>八王子市においても、より積極的に自転車利用の推進に取り組んでいただきたい。</p>	

番号	意見等の要旨	市の考え方
2. 施策展開について（第6章）（16件）		
基本目標1：あんにんに自転車を利用しよう（9件）		
2-1-1	<p>昨今のサイクリングブームで流行しているロードバイクは、タイヤが細く、路面状態が悪いと転倒や事故に直結する。市内の道路を見ると路肩の路面状態が悪いところが散見されるため、路面状態の改善を行うか、浅川ゆったりロードへ誘導するなど、検討していただきたい。</p>	<p>近年、本市においてもスポーツサイクル利用者を多く見るようになり、軽快車と比較すると高速で走行するため、路面の影響をより受けることが考えられます。</p> <p>市内の道路の路面状況につきましては、道路改修などの機会を捉えて補修を行います。補修が必要な穴等を発見した場合は、各々の道路管理者までご連絡ください。</p> <p>また、本計画においてはサイクリストに向け、推奨ルートや安全利用に関する情報発信をすることとしており、自転車走行空間のある路線への誘導についても検討します。</p>
2-1-2	<p>自転車利用者が走行していて、危ないと感じる場所が沢山ある。アスファルトの凹凸や、グレーチングの隙間など転倒につながり危険である。市民の安全につながることであれば、道路管理者によって当然解消する努力をされるべきものであろう。</p> <p>自転車利用者が危険箇所を発見したら八王子市へ知らせることができるような仕組みがあると、その後の対応も重要ですが、危険箇所は飛躍的に解消されていくのではないかと。</p>	
2-1-3	<p>夜間に浅川ゆったりロードを走行する際に、街灯がなく、非常に暗い。若い女性などが歩いている姿を見ることも多く、防犯上も問題である。川沿いで難しいのかもしれないが、改善していただきたい。</p>	<p>河川内に工作物を設置すると、洪水時に水の流れを妨げたり、工作物が流れるなどの問題があり、原則として設置できません。</p> <p>しかし、浅川ゆったりロードやほかの河川においても散策やサイクリングに利用されているところもあり、利用者の安全対策について研究し、歩行者や自転車が安全で快適に利用できるよう、引き続き安全確保を進めます。</p>
2-1-4	<p>JR 八王子駅周辺などにおいてナビマークの設置が進められているが、自転車走行レーンは交差点等で分断されることなく、駅前駐輪場までシームレスに利用できることが望ましいと考える。自転車専用道路を駅前駐輪場までつなげることが理想であるが、とりあえず自転車走行レーンをシームレスに駅前駐輪場に繋がるよう整備されることを提案する。</p>	<p>本計画では、自転車走行空間ネットワークを、自転車利用が多い施設間を結び「接続性」や、連続的な経路確保の観点から「接続性」などの視点を持って設定しています。</p> <p>道路幅員などの関係から、自転車専用道路を整備することは困難ですが、それぞれの場所に適した整備手法を用いて、自転車駐輪場まで連続した自転車走行空間の整備を進めます。</p>

番号	意見等の要旨	市の考え方
2-1-5	歩道の自転車走行時のマナーについて具体的には何も述べられていない。歩行者に危害や危機感を加える行為はあってはならないと思う。歩道走行するにあたってのマナーを取り上げることを提案する。	自転車は車両であり、原則車道を通行することとしていますが、子どもや高齢者、車道走行が危険な場合などにおいては歩道走行ができ、また、本計画においては、車道上の自転車走行空間の整備が困難な場所については、歩道上での自転車走行空間の整備についても検討するとしております。 歩道上を通行する際のルールやマナーについては、学校や事業所、警察等と連携した安全教育の中で啓発を図ります。
2-1-6	市内の幹線道路はバス等の大型車も多く、車道走行に危険が伴う。歩道の通行も歩行者に危険があるため、自転車で走りやすい裏道の整備をお願いしたい。	本計画では、市全域の道路においては計画期間によらず、事業機会を捉えて安全な利用環境の創出を図ることを前提としており、その中で特に必要性や実現性の高い経路で検討を進める「自転車走行空間ネットワーク」を定めています。 「自転車走行空間ネットワーク候補路線」を中心に整備を進めますが、その路線の整備が困難な場合の迂回路として選定される場合などにおいては、裏道の整備も検討します。
2-1-7	健康増進に繋がる自転車であっても、最も配慮しなければならないのは安全である。子どもと高齢者等を除く自転車は、原則的に車道を走ることがはっきりと打ち出されたものの、いきなりすべての道路において自転車通行が安全にできる状況に変わったわけではない。 交差点近くでは、右折車線や左折車線が増えることで、自転車の走行スペースが突然消えてしまうところも多くある。自動車優先の道路整備をするために、自転車が車道を走行する環境を整備できない状況を生じており、自転車が歩道に上がらざるをえない状況を道路そのものが導いているといえる。	本計画では、自転車走行空間の整備について、国土交通省・警察庁のガイドラインや、東京都の計画に沿って整備手法を選定するとしています。 交差点内や交差点付近の整備手法についても、これらの計画を参考としながら、車道を基本として、自転車や歩行者が安全に走行できる環境の整備を進めます。
2-1-8	車道を走行してきた自転車が、突然横断歩道に現れた歩行者自転車用信号に戸惑う。横断歩道に歩行者自転車用信号機がある場合は、それに従わなければならないとされているようだが、それは、自転車が歩道を走行するものとされていた時代の遺物そのものである。このような規則は改められなくてはならないし、交差点の対策が必要である。 また、対向車が直進する自転車を全く無視をして右折してくるようなこともあり、歩行者自転車用信号機の問題と関連してくると思われる。	交差点内においては、自動車や歩行者と錯綜する可能性が高いことから、特に安全な走行環境を整備する必要があります。 交差点内に自転車横断帯がある場合はそれに従わなければなりません。歩行者や自転車利用者の安全に配慮した環境の創出に向け、交差点内の自転車走行空間の整備手法について研究します。
2-1-9	南大沢で見たモデル地区における自転車レーン（走行空間）の整備は、とてもよい方法であると痛感したが、ポールで仕切ったこの環境を市内のすべてのエリアに拡大することは、費用面を考えると、容易ではないと感じた。最も優れた環境が一部エリアだけで留まってしまうよりも、少しでもよい環境がスピーディーに広まることが、走行空間の整備において重要であると強く感じる。 自転車が歩道から降りて、自動車と区別され独立して走れるスペースの確保は、歩行者との事故の減少にもつながり、右側走行（逆走）の減少にも有効であろう。歩行者の安全に、またドライバーの安心にもつながる自転車レーンとナビマーク、一日も早く市内全域へ広まることを期待している。	南大沢駅周辺においては平成 21 年度より自転車走行空間の実証実験を行っており、平成 28 年度にはポストコーンによる物理的な空間分離の実験を行っております。自転車走行空間を整備することにより、自転車利用者へのルールを周知するとともに、自動車のドライバーにも自転車の走行位置について、認知を深める効果もあります。 自動車や歩行者と物理的な分離を行うことは安全性が向上する反面、整備費用も掛かることから、周辺の交通状況を勘案して、自転車ナビマーク等の整備手法を選定し、自転車走行空間ネットワーク候補路線を中心に整備を推進します。

番号	意見等の要旨	市の考え方
基本目標 2 : かしく自転車を利用しよう (3 件)		
2-2-1	私事での自転車利用の増加が顕著である。JR 八王子駅周辺の自転車駐輪帯 (既存の場所は 2 時間以内は無料) や、商店との連携 (設置義務) による自転車駐車を増設し、短時間利用の場合は無料とすることを提案する。短時間利用の無料化によって、放置自転車を無くすることができ、短時間で入れ替わることによって、多くの利用者を受け入れることが可能になる。	近年は通勤通学の長時間利用だけでなく、買い物等の短時間利用が増加しており、自転車駐車場に求められるサービスも変化しています。短時間利用者に対しては、自転車駐輪帯の整備を進めるとともに、条例を適正に運営することで附置義務自転車駐車場の整備を進めます。また、利用料金については、既存の施設を含めた料金体系について研究します。
2-2-2	素案では駅から 300m 位の利便性の高い位置のみを対象としているようだが、鉄道駅から 500m くらい離れた場所に無料の自転車駐車を設置する事を提案する。駅まで歩く距離が長くなるが、市民の健康維持や商店街の売り上げ向上にも意味があると思われるので、地域全体からの検討を提案する。	本市の調査によると、鉄道駅から 300m 以遠の自転車駐車場については利用率が極端に下がることがわかっており、自転車駐車場の配置や料金体系について検討が必要であるとしております。今後自転車駐車を整備する際には、自転車利用者の動向や、地域のまちづくりを含めて研究します。
2-2-3	素案で紹介されている「放置自転車の写真」を見ると、本来そこには駐輪設備があってもよいように感じる。通行の障害にならない場所に自転車を停める設備を積極的に設置すべき。 自転車で街へ集まってくれる人たちを大切に、スタンドのないスポーツ用自転車でもとめられる駐輪スペースを積極的に設けていくなど、気軽に止められるエリアの増設が街の美化と活性化に有効であると感じる。	JR 八王子駅周辺や南大沢駅において、幅員の余裕のある歩道に自転車駐輪帯を整備しており、今後も引き続き、買い物等の短時間利用者対策として、自転車駐輪帯の整備を推進します。また、スポーツ自転車用の駐輪施設については、サイクリストの利用状況を把握したうえで、整備について検討します。

番号	意見等の要旨	市の考え方
基本目標 3 : たのしく自転車を利用しよう (4 件)		
2-3-1	基本目標 3 として「コミュニティサイクルの研究」が取り上げられているが、基本目標 2 の「たのしく自転車を利用しよう」に含め、実証実験を行ってはどうか。	レンタサイクルなどの自転車の共同利用については、鉄道駅周辺や観光地での回遊性向上等につながるとされているものの、導入手法や費用対効果について、十分研究する必要があります。
2-3-2	他の自治体ではレンタル自転車運営をしており、近隣に住んでいれば自分で買わなくても良く、駅を利用するのにお金を支払わなくても良かった。 八王子市においても駐輪場内にレンタル自転車スペースを設け、1 日レンタル自転車で気軽に観光等に使えると便利である。	導入に際しては利用者のニーズを十分に把握し、導入可能性や導入の効果について研究します。
2-3-3	八王子には、陣馬街道の和田峠と甲州街道の大垂水峠があり、どちらも関東の本格的サイクリストの間では有名な場所であり、自転車愛好者が集まる要素をすでに備えている。自然に恵まれた八王子の環境を楽しみ、飲食を楽しんでいってくれば、少なからず八王子市の活性化に結びつくはずである。最近では個人の飲食店でも、スポーツサイクル利用者向けの施設が見られる。 残念ながら浅川サイクリングロードの現状では、その役割は果たせていないが、安全に車道を走行でき、東西南北へ自転車が行き来しやすい環境を整備することで、八王子市活性化への一つのポイントになると思われる。	本市は、豊かな自然環境を有しており、市内外のサイクリストに人気のエリアとなっていますが、市のかかわりは少ない状況です。今後は、自転車走行空間の整備とともに、サイクリストの利用状況を把握し、支援施設の導入やサイクリスト向けの情報発信について検討します。
2-3-4	スポーツや観光として利用できるコースを、市内各所にある小さな遺跡や緑道を結んで、路面にペイントをするなどの整備をしてはどうか。	本計画では、スポーツや観光で自転車を楽しむ利用者に対しては、休憩施設やメンテナンス機能を備えた施設のマップ等の作成を検討するとしています。いただいたご意見につきましては、自転車走行空間を整備するにあたって参考とさせていただきます。